

研究課題名	HCVに対する抗ウイルス治療後、SVR後の病態に関する研究
研究機関名	国立感染症研究所、東京大学消化器内科、兵庫医科大学医学超音波センター・内科肝胆膵科・消化器内科、浜松医科大学ウイルス学、国立国際医療研究センター国府台病院 肝炎・免疫研究センター、大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学、武蔵野赤十字病院 消化器科、東京慈恵会医科大学・実験動物学、分子細胞生物学、京都大学大学院医学研究科・消化器内科、名古屋大学消化器内科、大阪大学微生物病研究所
研究責任者	所属 消化器科 氏名 黒崎 雅之
研究期間	平成26年7月 ～ 平成28年3月
研究の意義・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ C型肝炎に対する新規治療によるウイルス排除が、従来治療と同等の肝疾患イベント抑止効果が得られるかどうか、線維化改善がえられるかについては今後の大きな検討課題である。 ・ 本研究はウイルス排除（SVR）後の肝疾患イベントの高リスク群の同定・病態の解明を目的にした研究である。 ・ 本研究では、今後増加するSVR後症例の適切な管理のため、厚生労働省科学研究「HCVに対する抗ウイルス治療後SVR後の病態に関する研究」の研究分担者として行うものである。
研究の方法 (対象期間含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究対象は1990年から2014年6月までに抗ウイルス療法を施行し、SVRが得られたC型慢性肝炎・肝硬変の方です。 ・ SVR後の肝発癌について臨床背景との関連を検討します。 ・ 診療上の必要性から肝生検を施行した方を対象として、SVRによる線維化改善・非改善に関わる因子を検討します。
個人情報の取扱い	個人情報保護法の趣旨に沿って個人情報を取り扱います。個人情報を記載した資料（書類）は、管理責任者（調査実施責任者および担当者）の適切な管理の下、第三者からの不正アクセス、第三者への漏えい防止および紛失等その他の安全管理を厳重に行います。
問合せ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 消化器科 氏名 黒崎 雅之</p> <p>TEL：0422-32-3111（代表）6813（事務局内線） FAX：0422-32-3525</p>